

みよし市の取り組み

みよし市三好町地内にある保田ヶ池公園の保田ヶ池は、雨水をためる貯留構造を有し、農業用水を確保した上に4,500m³の洪水調整容量を設けております。これは、大雨が降った時、この池に水を一時的にためることによって、低地での浸水を防ぐことを目的としています。

概要パンフレット



全景



工事状況



浸水想定区域図



みよし市では、災害に備えていただくため各種防災マップを作成しています。防災マップには、浸水災害や土砂災害の危険性が高い区域や避難場所などが示されています。そのなかに、浸水被害の危険性が高い区域を示した「浸水想定区域図」があります。この地図は、平成12年9月に発生した東海豪雨クラスの強い雨が降ったとき、どのような被害が発生するのかを愛知県が予想し、公表したものです。いざというときに備えて、防災マップを確認し、自分たちの避難場所や危険箇所を把握しておきましょう。

[浸水想定区域図\(p33\) \(PDF : 1,770KB\)](#)

